

ホームページでは神戸市会の最新情報をご覧いただけます。

神戸市会 | 検索

広報紙KOBEより抜き出してお読みください。

## 2024年度各会計 決算を認定

第2回定例会市会が9月2日に開会しました。会期は12月9日までの99日間で、前半が9月議会、後半が11月議会です。

9月議会では、2024年度決算および関連議案を中心に審議を行いました。  
(市長提出42件、議員提出3件、合計45件)

### 決算などの 議案を審議

9月8日・9日の本会議で、2024年度決算および関連議案計23件について、各会派の代表者が質疑しました。その後、決算特別委員会を設置し、局ごとにさまざまな観点から審査を行いました(主な内容は2~4面をご覧ください)。その結果、10月9日の本会議ですべて認定・可決しました。また、補正予算・条例改正などの議案も9月8日、10月9日の本会議で可決しました。

### 第2回定例会市会【9月議会】の動き

9/2	本会議	○ 開会 ○ 議会の委任に基づく市長専決処分などの報告 ○ 議席の一部変更 ○ 会期決定 ○ 人事案件の指名 ○ 2025年度補正予算などの議案の提案・質疑 ○ 2024年度決算および関連議案の提案	9/10~30	決算特別委員会	○ 2024年度決算および関連議案、陳情の審査 <a href="#">4面でご紹介</a>
9/3・4	常任委員会	○ 2025年度補正予算などの議案および請願・陳情の審査	10/2	本会議	○ 追加議案の提案
9/8・9	本会議	○ 議員辞職の採決 ○ 人事案件の提案・採決 ○ 2025年度補正予算などの議案の採決 ○ 2024年度決算および関連議案に対する会派代表の質疑 <a href="#">2・3面でご紹介</a> ○ 決算特別委員会設置	10/3・6	常任委員会	○ 追加議案および請願・陳情の審査
			10/9	本会議	○ 追加議案の採決 ○ 2024年度決算および関連議案の討論・採決 ○ 請願の討論・採決 ○ 議員提出議案の提案・採決
			10/10	本会議	○ 一般質問 <a href="#">4面でご紹介</a>

11月議会は、2025年11月27日(木)から12月9日(火)まで開かれます。本会議および委員会は傍聴やインターネット中継でご覧いただけます。



## 可決した主な議案

### 2024年度決算 決算特別委員会委員長報告より

財源対策によることなく実質収支の黒字を確保したことを評価するとともに、人口減少社会において、将来世代が過度な負担を背負い込むことがないように、未来を見据えた循環型社会を創造し、持続可能な大都市経営を行っていくことを期待して、2024年度神戸市各会計決算19件は認定し、関連議案4件は原案どおり承認することに決定しました。

### 2025年度9月補正予算の概要

(主な内容)

- 都心エリアのさらなる安全対策  
・市直営防犯カメラの増設
- エネルギー・食料品などの物価高騰の影響を受ける市民への支援  
・暮らし支援臨時特別給付金  
・学校給食における食材費高騰対策  
・生活困窮者への食支援などの実施
- 教育環境の充実  
・中学校部活動の地域展開 (KOBE◆KATSU)  
・中学校給食の全員喫食制の推進

### 議員提出議案

#### ●意見書の提出

次の意見書を可決し国に提出しました。  
・国家公務員の地域手当に準拠した地域区分の見直しに関する意見書

### 人事案件

北区選挙管理委員および同補充員、兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員を指名しました。また、神戸市固定資産評価審査委員会委員の選任に同意しました。

### 議員辞職

無所属の五島大亮議員が9月8日に辞職することを許可しました。

### ▶2024年度決算に対する各会派の賛否一覧

○=賛成 ×=反対

件名	自	維	公	共	こ	新	躍	つ	無 平野章	無 上原	結果
一般会計/国民健康保険	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	認定
市場/駐車場/市街地再開発/ 市営住宅/介護保険/ 後期高齢者医療/空港整備/ 下水道/新都市整備/港湾/自動車/ 高速鉄道/水道	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定
食肉センター/母子父子寡婦福祉 資金貸付/公債/工業用水道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

会派届出名の略称 自 自由民主党 維 日本維新の会 公 公明党 共 日本共産党 こ こうべ未来 新 新しい自民党 躍 躍動の会 つ つなぐ 無 無所属



## 全体議員総会を開催

10月27日に全体議員総会が開催され、10月26日の市会議員補欠選挙で当選した新議員が紹介されました。また同日神戸市長選挙で当選した、久元喜造市長があいさつをされました。

## 新議員のご紹介



ひらた ただし  
平田 正  
(東灘区・日本維新の会)



みきこ  
うえなか 美貴子  
(北区・自由民主党)

10月26日に行われた市会議員補欠選挙(東灘区および北区)の結果、平田氏、うえなか氏が当選されました(任期は2027年4月29日まで)。

# 本会議での各会派の代表質疑から

9月8日・9日の本会議では、2024年度決算とそれに関連する議案について、市長・副市長などに質疑しました。その主な内容をご紹介します。

議員名（会派届出名の略称、選挙区）

録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。



9月8日



9月9日

神戸市会 中継 | 検索

## まち・くらし

9月8日の代表質疑から

### AIカメラを活用した防犯機能の高度化

**Q** 防犯カメラの設置を進め、市民の体感治安の向上に成果を上げていることは評価しているが、事件発生そのものの予防も重要な視点である。不審な挙動やストーカー行為などの異常を検知する機能を有するAIカメラの導入が、不審者の早期発見につながり、防犯機能の高度化に有効であると考えられるか。

うえはた のりひろ  
上島 寛弘 議員  
(自由民主党/東灘区)



**A** AIカメラの犯罪抑止の可能性について警察庁で研究が進められている。本市へのAIカメラ導入には、現在のカメラ機器やシステム更新をどう進めていくかの検討も必要であり、まずはAIカメラの技術レベルや活用状況を調査・分析し、対応を検討したい。

9月8日の代表質疑から

### 高温常態化対策

**Q** 街路樹には、道路の根上がりや倒木などの問題もあるが、木陰により路面温度を下げて気温上昇を抑制したり、心理的リラックス効果などの機能がある。異常高温から市民を守るため、特に交差点付近に日陰を作る観点から、日差しを遮るタープ(※1)の活用や街路樹の設置が有効ではないか。

たかせ かつや  
高瀬 勝也 議員  
(公明党/灘区)



**A** 高温常態化対策は重要であり、「こうべ木陰プロジェクト」の取り組みとして、三宮周辺の都心部を中心に交差点付近などに植樹を行うとともに、既存樹木の生育促進のための土壌改良を実施している。日よけ設置の実証事業なども行い、街なかに日陰を増やす取り組みを進めていきたい。

9月9日の代表質疑から

### 核兵器禁止条約の署名批准を国に求めること

**Q** 2025年8月に開催された平和首長会議で、全ての国へ核兵器禁止条約への署名を求めるなど、核廃絶を願う被爆者の声と、市民社会の運動が世界を動かしている。唯一の被爆国の日本が条約に署名することが核兵器廃絶を一歩進める。神戸市として条約に署名批准するよう国に求めるべきではないか。

あさくら こ  
朝倉 えつ子 議員  
(日本共産党/北区)



**A** 条約の批准は国の専管事項であり、国において適切に判断されるべきものと考えている。本市として国に要請する予定はないが、平和は市民生活を営む上で最も重要であり、引き続き、命の大切さや平和の尊さを伝える平和啓発の取り組みを行ってきたい。

9月9日の代表質疑から

### 塩屋多井畑線の早期整備・事業化

**Q** 塩屋協議会ならびに塩屋財産区管理会の元・現会長らにより、387名の住民署名が提出された塩屋多井畑線の早期整備・事業化に取り組むべきではないか。大谷交差点以南地域の整備は、特に強い住民の要望があるため、焦眉の急である。

おかだ  
岡田 ゆうじ 議員  
(新しい自民党/垂水区)



**A** ご指摘のとおり塩屋小学校や幼稚園など多くの児童生徒の通学路となっており、本市としても、歩道のない現状の道路は安全上課題があると考えているので、地域の皆さんと合意形成を図って道路整備に努めていきたい。まちづくり推進会のみならず、地域の方々の意見を詳細にお聞きして、計画づくりに努めていきたい。

## 行財政

9月8日の代表質疑から

### 神戸市の物品などの調達に係るルールのあり方

**Q** GPA(※2)未加盟国を原産国とする製品を調達から排除することは、WTO/GPA違反にあたるのか。また、日本の商社や米国企業を経由していても、結果的に中国製品であるという迂回調達がある。立法趣旨を鑑み、調達のあり方を見直すべきと考えるがどうか。

うえはた のりひろ  
上島 寛弘 議員  
(自由民主党/東灘区)



**A** 違反となるか、外務省の見解を確認しているところである。WTO案件(※3)の見直しは政府において検討されるべきことと認識しているが、本市としてもWTO案件自体が地元優先発注を阻害する恐れや、自治体に事務負担をもたらすという課題認識を持っており、その点も含めて検討されることを期待したい。

9月8日の代表質疑から

### タワーマンション空き部屋所有者への課税

**Q** 低額な課税では、投資目的での購入を検討する高所得者に対する抑制の効果は限定的である。一方で、過剰な課税は、固定資産税との重複課税の懸念などがある。京都市が2029年度から導入する非居住住宅利活用促進税を参考にすると、課税目的達成のための適切な制度設計の研究が必要ではないか。

はら なおき  
原 直樹 議員  
(日本維新の会/垂水区)



**A** 租税法や財政学など各分野の専門家で構成する「居住と税制のあり方に関する検討会」では、法定外税の可能性について、さまざまな検討をしている。京都市の非居住住宅利活用促進税についても報告しており、今後、検討会において丁寧に議論いただきたい。

9月9日の代表質疑から

### こども医療費の無料化

**Q** 市長は、2013年の選挙で中学校までの医療費無料化を掲げて当選したが、無料化は進んでいない。今後も市政運営に携わろうと考えているようだが、医療費の無料化には手をつけないということか。市民の願いを受け止め、無料化に踏み出すべきではないか。

にし  
西 ただす 議員  
(日本共産党/東灘区)



**A** 市独自で制度を拡充し、高校3年生までの全ての子どもが、無料もしくは低額な一部負担金で受診できる環境を整えてきた。無料化は、医療現場の過剰な負担、医療費や保険料負担の増大を招き、将来世代の負担を増大させる。私が市長である限りは、低額の負担は求めていきたいと考えている。

9月9日の代表質疑から

### 児童館の環境整備

**Q** 児童館は子どもと保護者にとって大切な場所だが、施設が古く、バリアフリーやICT環境が不十分との声がある。「こどもっとひろば」という愛称を掲げ、行きたくなる児童館を目指していることから、安心してワクワクしながら通えるよう、時代に合った環境整備が必要ではないか。

やの こうじ 議員  
(こうべ未来/東灘区)



**A** 外壁改修など大規模改修のほか、利用者ニーズを踏まえた壁紙やカーペットの張り替え、トイレや授乳スペースなど施設的美装化を行っている。また、全館にWi-Fiを設置し、子どもが活動しやすい環境づくりも行っている。今後も利用者が過ごしやすい施設環境づくりに努める。

## 健康・福祉

9月8日の代表質疑から

### 特定健診<sup>(※4)</sup>の受診率向上

Q 健康な生活を長く送る上で予防医療の重要度が増しているが、神戸市の特定健診の受診率は横ばいが続いている。受診率の向上のために、抜本的にやり方を変更し、予約受付や健診結果表示などでデジタル化を取り入れることを検討すべきではないか。

たかせ かつや  
高瀬 勝也 議員  
(公明党/灘区)



A 本市では、医療機関での個別健診と区役所などでの集団健診により、通年で広く受診可能な体制を整えている。現在、集団健診でのWeb予約や、マイナ保険証の利用による過去の健診結果確認が可能となっているが、受診率向上や業務効率化のため中長期的に、さらなるデジタル化の推進が重要だと考えている。

9月8日の代表質疑から

### あんしんすこやかセンター<sup>(※5)</sup> 職員の処遇改善

Q 相談件数が倍増し、複合的課題も多いため、委託先の職員には専門性と迅速な対応が求められる一方で、人件費は2009年度以降据え置かれており、人材の定着が難しく、欠員が常態化している。このままでは職員への負担が集中して相談対応の質が低下し、制度の持続性にも影響が出る恐れがあるため、人件費の引き上げが必要であると考えられるか。

さかくち あきこ  
坂口 有希子 議員  
(公明党/長田区)



A 業務量の増加や高度な援助技術が求められることから人材確保が難しい状況であることは認識しており、あんしんすこやかセンターの安定的な運営に向けて、委託費のうち人件費相当額を増額する方向で検討したい。

9月9日の代表質疑から

### 外国人への生活保護の準用

Q 生活保護法は日本国民のみを対象としており、外国人については「当分の間」保護を行うと通知されてから70年以上が経過している。母国からの保護が受けられないような例外的な場合に限った当分の間の措置が常態化して利用されているが、国に通知の見直しを求めるべきではないか。そもそも神戸市は、外国人にも生活保護費を支給すべきと考えているか。

かわぐち  
川口 まさる 議員  
(躍動の会/灘区)



A 領事館などへの確認手続きを含めた考え方を明確化するよう、引き続き国に求めていく。また、法が準用されて外国人にも生活保護が適用されるという通知の方針に従い、適切に保護費の支給事務を執行している。

9月9日の代表質疑から

### KOBE◆KATSU移行後を見据えた教育改革

Q コベカツ移行後に生まれる余力を活用し、授業や教育環境の改善を大きく実感できるよう、明確なビジョンを示すことが生徒・保護者の安心や期待につながる。授業改善のシステム作りには教員と取り組むべきではないか。

ひらの しょうざん  
平野 章三 議員  
(無所属/垂水区)



A これからの時代に必要な資質・能力を育むには、授業を変える必要がある。一斉型中心の授業から、学び方を自ら選択・決定できる場面を設定し、子どもたちが深い学びや充実感を得て成長できるように、教員と共に取り組む。

9月9日の代表質疑から

### 教員の勤務校でのKOBE◆KATSU参画

Q 「居住地の近くでの指導」と限定するのではなく、希望する中学校で活動できるようにすべきではないか。板橋区では、教員の指導者報酬を月額3万円公費支給しており、保護者負担軽減の参考に検討してほしい。

うえはら  
上原 みなみ 議員  
(無所属/北区)



A 学校業務との混同や人事異動を考慮し居住地近くでの参画を基本とするが、教員が希望やライフスタイルに応じて参画しやすいよう取り組んでいく。保護者負担の軽減について、必要な予算の確保も含めて検討していく。

## 経済・観光

9月8日の代表質疑から

### 神戸空港の地方路線拡充

Q 神戸や尼崎には奄美にルーツを持つ方が約10万人おり、関西奄美会、神戸奄美会などが奄美と関西の交流を盛んに行ってきた。徳之島空港利用促進協議会も、神戸と徳之島を直行便で結ぶことを要望しており、交流人口増加による神戸の活性化が期待できる。空の玄関口として徳之島空港と就航すべきではないか。

まつもと  
松本 しゅうじ 議員  
(自由民主党/須磨区)



A 徳之島空港利用促進協議会が神戸空港との路線就航実現に強い思いを持っていると認識している。就航都市である鹿児島県との連携をより一層強化するとともに、徳之島3町とも意見交換を行うなど、就航の可能性について研究していきたい。

9月8日の代表質疑から

### 東京事務所を活用した経済活動の推進

Q 東京事務所を虎ノ門エリアへ移転し、機能拡充したが、具体的にどのような成果を見据え、どのような戦略で首都圏の人的ネットワークや資本を呼び込もうとしているのか。

ほう  
坊 やすなが 議員  
(自由民主党/北区)



A IT・AI分野や海外とのビジネスの交流に強みを持つ民間人材を新たにアドバイザーとして委嘱し、企業や大使館との接点獲得の強化に努めている。今後、企業などとのネットワークを拡大・強化し、市内企業などの強みや、本市の取り組み状況をタイムリーに伝える中で、社会課題の解決に意欲のある企業・人や、神戸への資金投入に関心を持つ企業・人を含めた神戸の応援団を増やしていく。

9月8日の代表質疑から

### 大阪・関西万博における取り組み

Q 神戸への誘客促進をつなげるため、大阪・関西万博会場内で8月1日から3日間、「KOBE COLOR」をコンセプトとした神戸市催事を行ったところ、延べ3万人が訪れた。万博をきっかけに神戸を訪れた人や、市内ホテルの稼働率が増加したと考えられるが、神戸への経済波及効果は、現時点でどの程度なのか。

やまもと  
山本 のりかず 議員  
(日本維新の会/北区)



A 神戸空港国際化など、複合的な要因があるため、一概に万博による経済波及効果を把握するのは困難であるが、万博会場から距離的に近い本市の立地の優位性もあり、観光誘客面のみならず、ビジネス面においても一定効果が出ていると認識している。

9月9日の代表質疑から

### インバウンド対策

Q 神戸市には市内全域に観光資源が豊富にあり、インバウンドの呼び込みにより市内経済発展に大きく寄与する。神戸空港の国際化を契機に、インバウンド観光客の増加が顕著であり、今後、滞在率や回遊性の向上に向けた取り組みをさらに強化していくべきと考えるか。

ゆきお  
かじ 幸夫 議員  
(こうべ未来/西区)



A 今後、滞在率や回遊性の向上により宿泊日数を増加させ、さらなる経済効果を生むため、多面的な魅力を楽しんでもらうことを目指した観光コンテンツの発掘・磨き上げ、またナイトタイムエコノミーやゴルフ、マラソンなどスポーツツーリズムの充実への取り組みが重要と考える。

9月9日の代表質疑から

### 神戸空港国際化に伴う騒音問題

Q 淡路島上空の新たな飛行経路に関し、騒音が強くなり、予定経路より広い範囲を飛んでいるとの意見が住民から出ている。騒音など飛行経路に関する課題については兵庫県を主体として協議しているが、神戸市としても淡路島住民の声を聞き、国・県・関西エアポートなどに必要な対応を積極的に求めていくべきではないか。

とみお  
あわはら 富夫 議員  
(つなぐ/中央区)



A 日頃から淡路島3市と意見交換を行っているところであり、本市としても、淡路島地域の方々の意見をしっかりと聞き、国・県・関西エアポートなどの関係者に対し、住民への丁寧な情報提供や騒音測定地点の見直しを速やかに行うよう求めていきたい。

### 用語説明

- ※1【タープ】  
野外で日差しや雨風を防ぐためにポールやロープを使って設置する大きな布。
- ※2【GPA】  
政府調達に関する協定 (Agreement on Government Procurement: 略称GPA) は複数国間貿易協定と呼ばれる協定のうちの一つ。
- ※3【WTO案件】  
WTO(世界貿易機関)が定める「政府調達に関する協定 (GPA)」の適用を受ける入札案件のこと。日本国内だけでなく、外国の企業も入札に参加できる公共調達案件がWTO案件となる。

- ※4【特定健診】  
メタボリックシンドロームに着目した、生活習慣病のリスクを早期に発見するための健康診断で、神戸市では40歳から74歳の国民健康保険加入者を対象として実施。
- ※5【あんしんすこやかセンター】  
「地域包括支援センター」の神戸市での愛称で、高齢者の介護相談窓口。保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員、地域支え合い推進員などを配置し、おおむね中学校区に1カ所の割合で設置。

# 決算特別委員会の質疑から

決算特別委員会では、2024年度決算および関連議案について審査しました。委員会は、9月9日に設置され、9月10日から3つの分科会で局ごとに審査した後、9月26日には総括質疑を、10月9日の本会議では市長に対して要望を行いました。

議員名(会派届出名の略称、選挙区)

## 決算特別委員会

議員60名で構成

委員長 伊藤 めぐみ  
副委員長 植中 雅子  
徳山 敏子

録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。→



神戸市会 中継 | 検索

9月26日

9月26日の決算特別委員会から

### 新たな住宅供給

Q 2030年までに5千戸の住宅供給を行う方針が市長から示された。市民ニーズに対応した多種多様な住宅供給と、その土地での暮らしの魅力とを合わせて発信することが有効と考えるが、今後どのような計画で取り組みを進めるのか。

高太郎 高太郎 議員  
(自由民主党/垂水区)



A 人口減少を少しでも抑制するために、手に入りやすい住宅を供給することが求められているのではないかと考える。民間のノウハウなどを活用し、まちの魅力も伝え、多様な住宅供給を計画的・安定的に進めていきたい。

9月26日の決算特別委員会から

### 国際標準の教育充実

Q 経済力に関係なく教育を受けられる公立学校でも、国際バカロレア教育(※1)などの新しい時代に対応できる国際標準の教育機会を提供すべく、市立の中高一貫教育校の設立を進めるべきではないか。

よしだ けんじ 吉田 謙治 議員  
(公明党/西区)



A 国際バカロレア教育は語学に加え、探究的思考やコミュニケーションに主眼を置くものだが、市立高校でも探究活動や特色的な学びの充実に努めており、国や県の動向も見据えながら、さらなる特色化・差別化を目指し、中高一貫教育の可能性を検討していきたい。

9月26日の決算特別委員会から

### 市民の感動と共感を呼ぶ交通環境の形成

Q 神戸市の交通政策は交通の維持に重点が置かれている。これは大切なことであるが、さらに一歩進んだ取り組みが必要。市民の感動や共感、シビックプライドの醸成、都市の価値向上といった観点から交通環境を検討してはどうか。

きど さだかず 議員  
(こうべ未来/須磨区)



A 都市の魅力や市民の満足度を高める取り組みは交通政策において重要な視点。駅前リノベーションや神戸観光MaaS(※2)、地域参加型の取り組みなど、市民の共感やシビックプライドにつながる交通環境の形成に向け、引き続き取り組む。

9月26日の決算特別委員会から

### KOBE◆KATSUにおける課題

Q けがなどのリスクに対して、現行の部活動では学校管理下の保険制度で、コベカツの実証事業では保険料の公費負担でカバーしている。コベカツ本格実施後はどうなるのか。

じゅんいち ながさわ 淳一 議員  
(日本維新の会/長田区)



A コベカツにおいては、活動中および移動中のリスクに備え、スタッフや参加者は自身のけがなどを補償する保険や個人賠償責任保険などに加入することとしているが、生徒の参加機会確保の観点から保険料も含めた保護者負担の軽減策を引き続き検討していく。

9月26日の決算特別委員会から

### 賃上げ・正規雇用化支援金の創設

Q 就職氷河期世代や働く女性は、いつまでも低賃金や非正規から抜け出せずに、苦しみを抱えている。物価高のもと、賃上げや処遇改善、正規雇用化を行う中小事業者へ、神戸市独自の支援を行うべきではないか。

まえだ あきら 議員  
(日本共産党/須磨区)



A 持続的な賃上げに向けては、事業者が収益性を高め自ら原資を生み出していくことが重要であると考え、中小事業者の生産性向上や付加価値向上につながる支援策を展開してきた。引き続き、事業者の前向きな取り組みを支援していきたい。

### 用語説明

- ※1【国際バカロレア教育】国際的な視野で行動するための能力を育成する教育プログラム。世界共通の大学入学資格を与えることにより、大学進学ルートの確保も目的としている。
- ※2【MaaS】複数の交通サービスの検索・予約・決済などを一括で行い利便性を向上させる取り組みであり、神戸市では交通と観光の連携による「神戸周遊パス」などを発売している。

### 質疑した他の議員(総括質疑)

- むらの せいいち 村野 誠一 議員(新しい自民党/須磨区)
- おおい としひろ 大井 としひろ 議員(躍動の会/須磨区)
- かがわ しんじ 香川 真二 議員(つなぐ/西区)
- ひらの しょうざん 平野 章三 議員(無所属/垂水区)
- うえはら みなみ 上原 みなみ 議員(無所属/北区)

## 要望事項

10月9日の本会議で、伊藤めぐみ決算特別委員会委員長から、市長に対し要望を行いました。

### ●安全・安心なまちづくり

防犯カメラ「神戸市カメラ」に表示看板を設置するなど、犯罪抑止の観点から整備を進められたい。また、視覚障がい者や外国人市民の防災対策のために有効な「耳で聴くハザードマップ」の導入促進を図られたい。

### ●地域活動の担い手確保

「地域貢献相談窓口」の活用を積極的に企業に働きかけ、地域との連携による新たな取り組みを進められたい。また、地域の課題解決を目的とした地域人材の発掘に取り組まれたい。

### ●子育て・学びの環境充実

KOBE◆KATSUが子どもたちにとって有意義な体験の機会となるよう、教育的意義や教育委員会の責任を明確にしつつ、経済的な課題など不安を払拭するほか、自転車移動における安全な移動環境の確保など、コベカツクラブへの伴走支援に取り組まれたい。さらに、産後ケアについて、妊娠届出時の面談などの機会を活用し、その意義やオンライン利用の方法を周知利用率の向上を図られたい。

### ●福祉施策の充実

障がい者雇用について、本市や市内事業者が法定雇用率を満たせるよう積極的に取り組むとともに、超短時間雇用についても推進されたい。また、介護人材不足に対応するため、外国人介護人材の受け入れについては、産官学の連携を一層強化するとともに、神戸で働き、暮らし続けたいと思える環境づくりに取り組まれたい。

### ●魅力的な都市づくり

主要駅のバスロータリーの機能向上、美装化について全市を挙げて対応を図られたい。また、市民の足となる市バスを持続可能な公共交通として維持するため利用拡大の取り組みを進めるとともに、バス路線の廃止・減便時には、事前に事業者と情報共有し、影響を最小限に抑える対策を協議する仕組みを構築されたい。

### ●経済活動の活性化

若者の市内企業就職を促進するため、インターンシップの推進や選ばれる企業になるための支援、リーディングカンパニーの誘致などを推進されたい。また、六甲山系の登山道においてインバウンド誘客の視点も踏まえた整備・改修を行うとともに、集落営農組織の施設・農機導入費用の負担軽減など、経済の活性化に向けた取り組みを推進されたい。

## 一般質問

議員がそれぞれの立場・観点から、市政一般について市長・副市長などに質問しました。

議員名(会派届出名の略称、選挙区)

録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。

10月10日



ひらい まちこ 平井 真千子 議員(自由民主党/長田区)

- ① 地方創生2.0基本構想を踏まえた本市の施策展開
- ② 住宅供給における公共施設跡地の活用
- ③ 猛暑への「適応策」の強化
- ④ 予防重視の健康施策とライフステージに応じた支援の強化
- ⑤ 持続可能な医療体制

むらかみ たつま 村上 立真 議員(自由民主党/兵庫区)

- ① ウォーターフロントの将来像の実現
- ② 雇用創出につながる港湾機能の強化
- ③ 神戸空港国内線の活性化
- ④ 内航フェリーの活性化

そとみ かいぞう 外海 開三 議員(日本維新の会/東灘区)

- ① インバウンド戦略
- ② 市民の健康増進
- ③ 職員の不祥事
- ④ 選挙管理委員の取り組み
- ⑤ 自治会がない地域の情報共有

はぎわら たいぞう 萩原 泰三 議員(公明党/中央区)

- ① 避難所の環境改善と災害対応力強化
- ② 5歳児健診の実施
- ③ 個別最適な英語教育
- ④ ポートライナー・六甲ライナーへのエコファミリー制度導入
- ⑤ 神戸電鉄乗生線
- ⑥ ナイトタイムエコノミーを阻害するごみ問題
- ⑦ 外国人との共生社会に向けた啓発

あじくち 味口 としゆき 議員(日本共産党/灘区)

- ① 六甲病院の移転
- ② 王子公園の大学誘致

いとう めぐみ 伊藤 めぐみ 議員(こうべ未来/北区)

- ① 都心三宮の景観
- ② 若者と女性に選ばれるまちづくり
- ③ 起立性調節障害の生徒支援
- ④ 神戸電鉄山の街駅周辺の再整備

むらの せいいち 村野 誠一 議員(新しい自民党/須磨区)

- ① 高校生等通学定期券補助金
- ② JR須磨海浜公園駅のエスカレーター設置
- ③ しあわせの村の無料シャトルバス
- ④ わたしから神戸市への提案

かわくち 川口 まさる 議員(躍動の会/灘区)

- ① 道路・公園などの適正利用
- ② 外国人に対する生活保護費の義務費的性質の有無